

SALADBOWL's VISION

農業の新しいカタチを創る

















私たちは

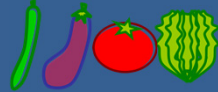
農業を地域に
価値ある産業にしたい

と考えています

サラダボウルグループの事業展開

① サラダボウル

- ・山梨県中央市（2004年4月設立）
- ・栽培面積：約18ha
- ・年間約30品目を生産
（トマト、キュウリ、ナス、ブロッコリー、葉菜類等）



事業開始済み（2圃場）

② アグリビジョン

- ・山梨県北杜市（2016年栽培開始）
- ・栽培面積：3.0ha
- ・ミニトマト（スプラッシュ）/中玉トマト



③ 兵庫ネクストファーム

- ・兵庫県加西市（2015年栽培開始）
- ・栽培面積：3.6ha
- ・ミニトマト（スプラッシュ）/大玉トマト
- ・次世代施設園芸モデル事業



海外生産事業（開始済み）

【海外】PAN-SALADBOWL

- ・Vietnam Dalat 等（2016年生産開始）
- ・栽培面積：7.0ha ⇒ 5年で300haに拡大
- ・花卉（スプレーマム、カーネーション）、イチゴ、トマト、その他野菜



計画中（3圃場）

④ いわて銀河農園

- ・岩手県大船渡市
- ・栽培面積：1.5ha
- ・沿岸のため、降雪が少なく日照量が多い地域
夏越トマトの新たな産地として展開



⑤ 東北アグリヒト

- ・宮城県
- ・栽培面積：3.0ha
- ・沿岸のため、降雪が少なく日照量が多い地域
夏越トマトの新たな産地として展開



⑥ アグリサイト

- ・山梨県北杜市
- ・栽培面積：2.6ha
- ・アグリビジョンとの連携
- ・ヒューリック株式会社との合併



サラダボウルのグループ展開

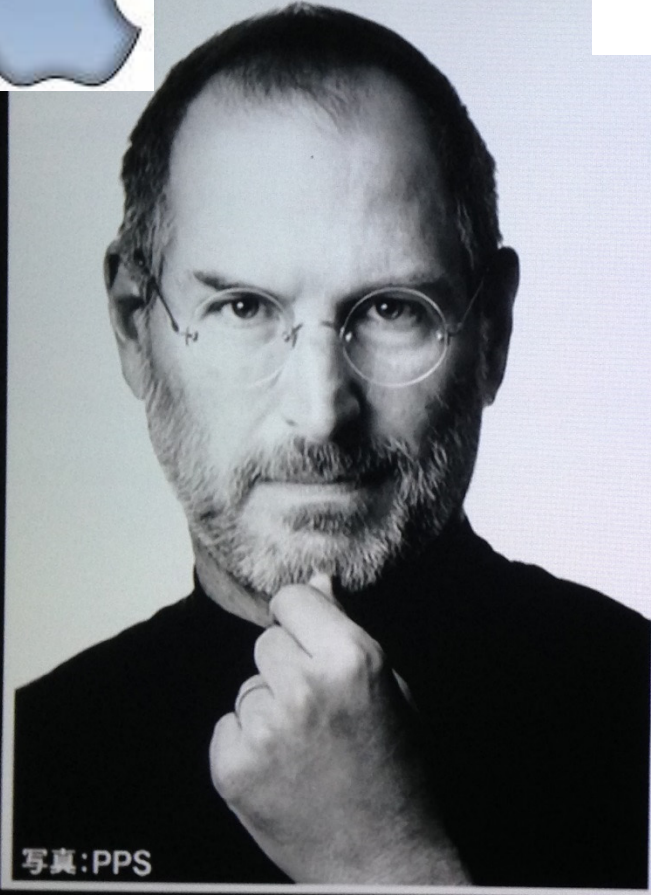
【国内】

- ・ 株式会社サラダボウル(18ha) → 40人
- ・ アグリビジョン株式会社(3ha) → 80人
- ・ 株式会社兵庫ネクストファーム(3.6ha) → 100人
- ・ 株式会社アグリサイト(2.6ha) → 60人
- ・ 株式会社東北アグリヒト(3ha) → 70人
- ・ 株式会社いわて銀河農園(1.5ha) → 30人

【海外】

- ・ PAN-SALADBOWL (ベトナム) → 160人

500人の雇用が生まれる



アップル創業者 スティーブジョブズ

人は形にして
見せてもらうまで
自分が何が欲しいの
か

わからないのだ

すでに新しい時代への挑戦も始まっている

sensing monitoring

Automatic transporting robot

Automatic harvesting robot

Robotics

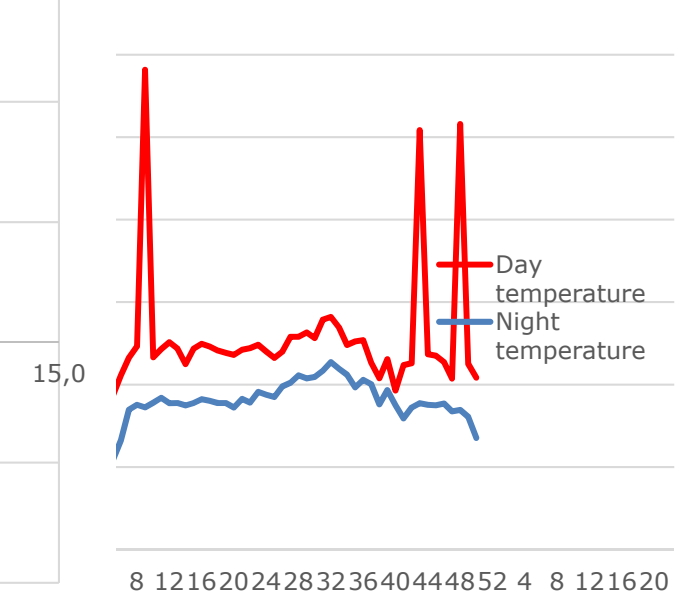
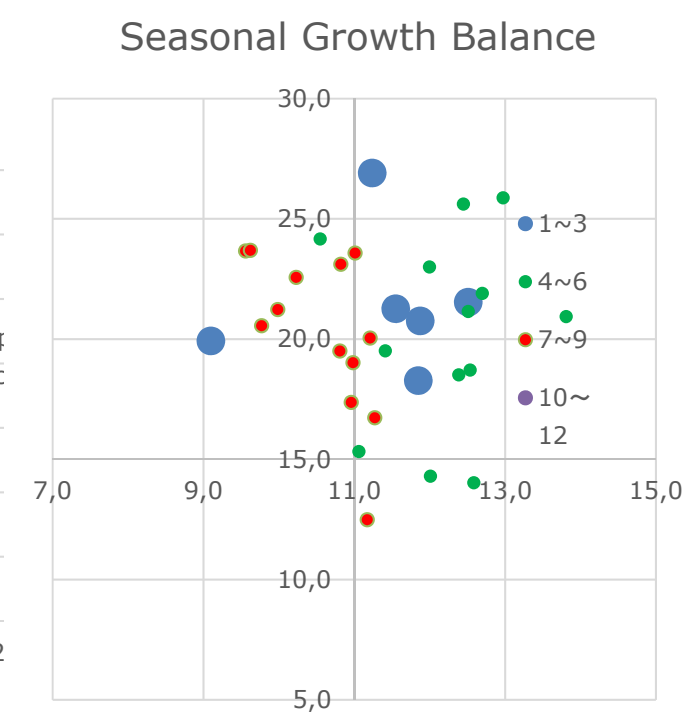
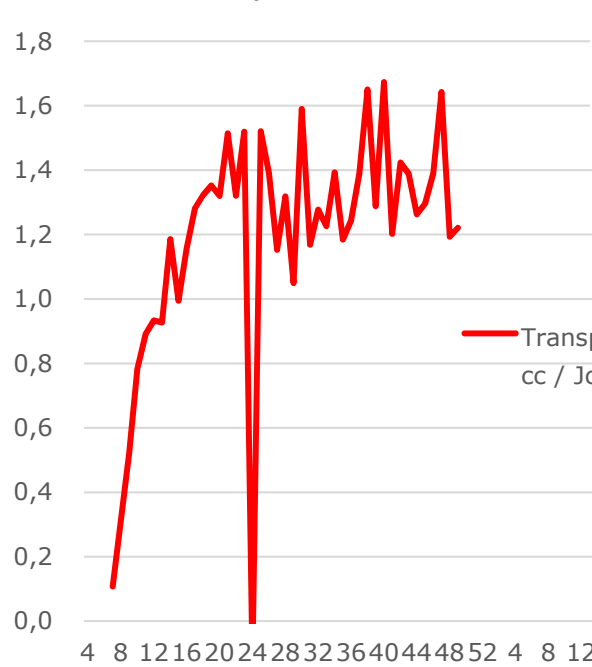
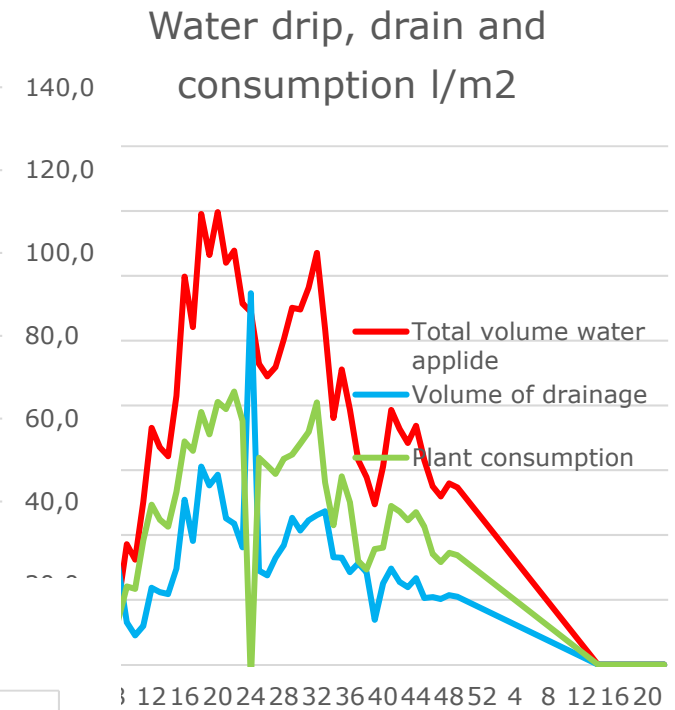
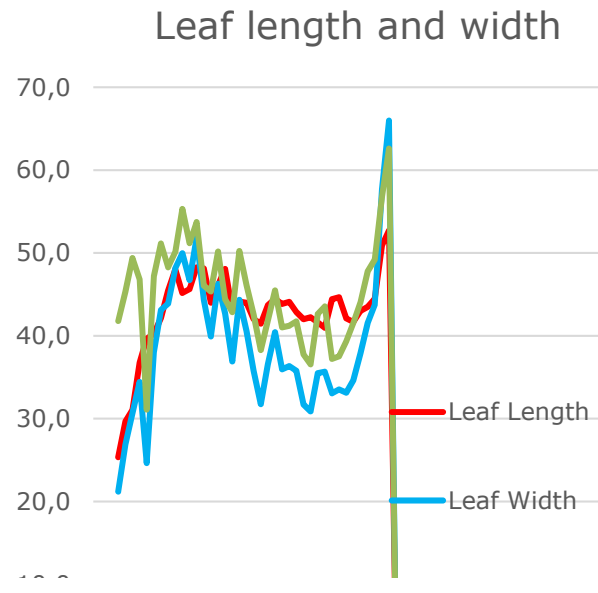
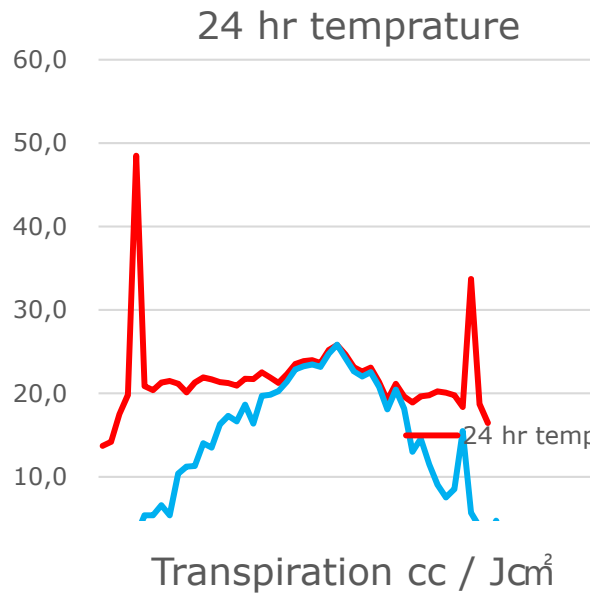
IoT

Harvest forecast system

Big Data

AI

Deep Learning



新しい技術やノウハウを取り入れ、これまでにない価値を創る



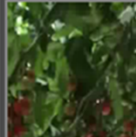



期間 2017/05 ~ 2017/06 表示 アグリビジョン_A53 (12件)

2017年6月6日 平均気温--℃ 降水量--mm 日照時間--h 実 Mapへ戻る

△ A-1エリアで検知しました(他10エリア)

検知情報 天候グラフ

詳細画像

 A-1エリア 検知数3件	 A-2エリア 検知数1件	 A-3エリア 検知数2件
		

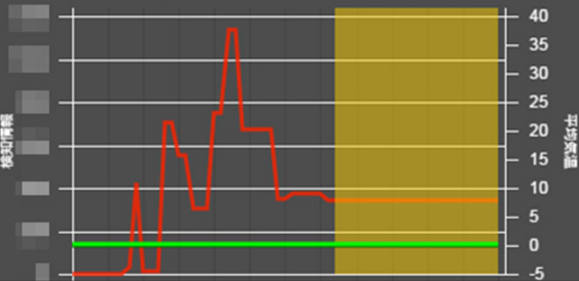
収穫予測

- 圃場：アグリビジョン_A53 (12件)
- 品種：トマト
- 撮影日：2017年6月6日
- 検知数合計：
- 収穫数予測：

推移

2017/05 ~ 2017/06 表示

■ 実数



検知情報

日付範囲

誰かと争い
何かを奪いあって
大きくなるではなく

自ら価値を創りだし
成長していきたい

しかし

順風満帆だった訳ではない

たかだか4～5年前までは・・・



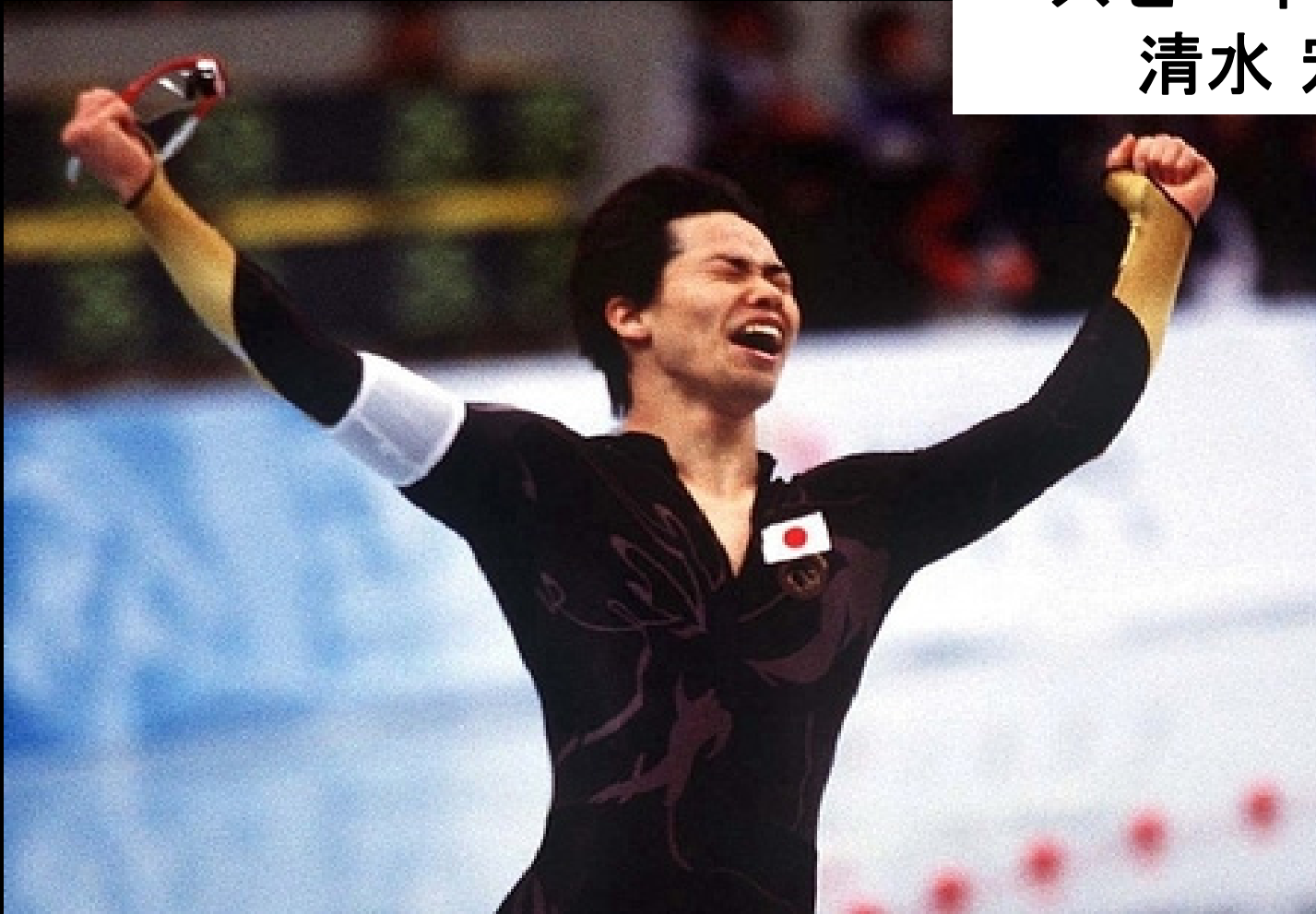
「そんなことできっこない」

って言われ続けてもきた

強い思いがあれば

新しいカタチを創れる

長野五輪 金メダル
スピードスケート
清水 宏保 氏



非常識も、結果を出せば常識に変わる

農業も

【Science】と【technology】
で大きく変わる

「できっこない」を、その時代の当たり前に！
次の時代の「当たり前」を創りたい！

スマート農業で変わること...

1. 儲かる農業の実現

- ☛生産者が社会に価値を提供
- ☛より高品質な農産物を、より安定的（4定）に！

2. 生産者の待遇改善

- ☛月給とボーナス
- ☛労働時間の短縮
- ☛週休二日、有給休暇

3. 最先端産業に変貌

- ☛人気産業、人気業種へ転換

4. 農業界への優秀な人材の流入

- ☛人材の確保、育成（内部育成、外部獲得）

5. 事業ドメイン（領域）の拡大

- ☛生産、加工、流通、販売、ブランディング、プロモーション

6. 地域（田舎）のハブ産業に！！

- ☛雇用、金融、資材、物流、販売など地域事業とともに発展

人を幸せにして
社会や地域を豊かにしてこそ
ScienceやTechnologyの意味がある

【 農業の新しいカタチを創る 】

スピード感とスケール感をともなって
ダイナミックに成長する時代がやってきた